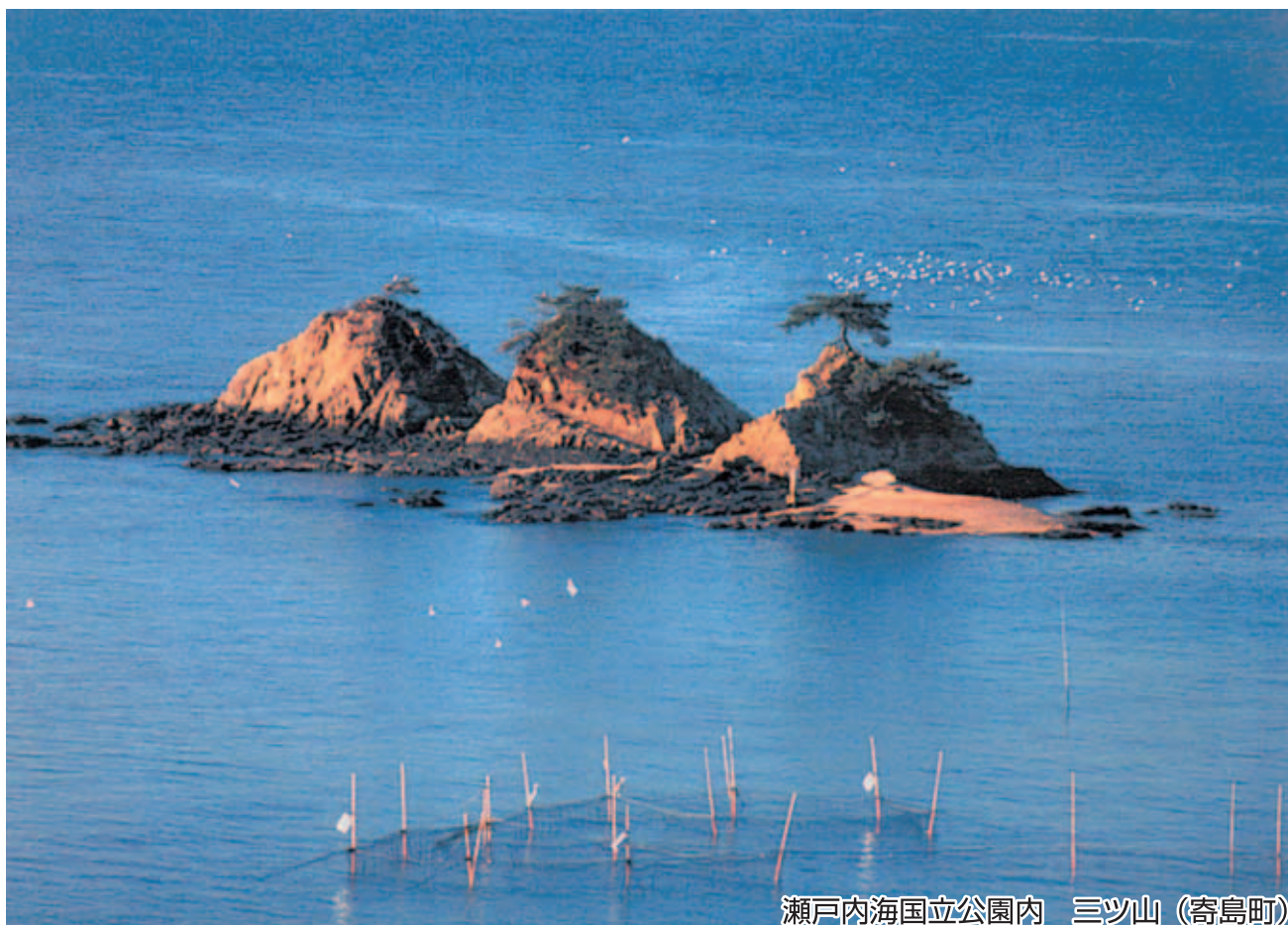


あさくち 議会だより

平成18年8月15日発行

6月定例会
No.2



瀬戸内海国立公園内 三ツ山（寄島町）

〈目 次〉

- ・ 議員定数を20人に削減 P2
- ・ 特別委員会を設置・各委員会メモ P8・P9
- ・ 一 般 質 問 P11
- ・ **合併で議会費5700万円削減 ... P24**

発行 岡山県浅口市議会 編集 広報委員会

〒719-0295 岡山県浅口市鴨方町六条院中3050番地 電話(0865)44-7010

定数を20人に削減



市議会議員定数条例を可決

六月二十一日の本会議で、浅口市議会議員定数条例が、全会一致で可決され、議員定数を二十人となりました。

この条例により、議員定数は、現在の二十四人から四人少なくなり、次の一般選挙からは、定数二十人で選挙が行われます。

合併協定書

では二十人

合併協定書では、新市の設置後に行われる議員選挙は二十四人、その次の選挙から二十人としていました。

現在の定数は、平成十七年三月二十二日に、金光町、鴨方町、寄島町

一般会計は

127億3210万円

の議員数四十二人を、合併に伴って、二十四人とするのを議会議決したものです。

18年度予算

六月議会で、十八年度の予算を可決しました。

一般会計予算は、百二十七億三千二百十万円、旧三町の前年度当初予算の合計額百十三億八千三百六十二万三千元より、十三億四千八百万円余り増加し、率にして十一・八%と大幅に伸びています。

主な収入は、地方交付税や市税ですが、市債（市の借金）も十五億八千四百十万円となっています。

また、収入不足を補うため、財政調整基金（市の貯金）か



10月からのパスポート発給事務準備（市役所1階）

総務費

市長・市議会議員選挙費に二千六百八十八万七千円。

合併記念事業七百五十万円。パスポート発給事務に二百二十七万九千円。

ら四億八千五百七十六万五千円を繰り入れています。



乳幼児医療費は 10歳未満まで無料

民生費・衛生費

福祉事務所の設置と福祉関連事業の増加のため、旧三町の前年度予算より約六億八千五百万円増加しています。特に、乳幼児医療費は10歳未満まで全市で



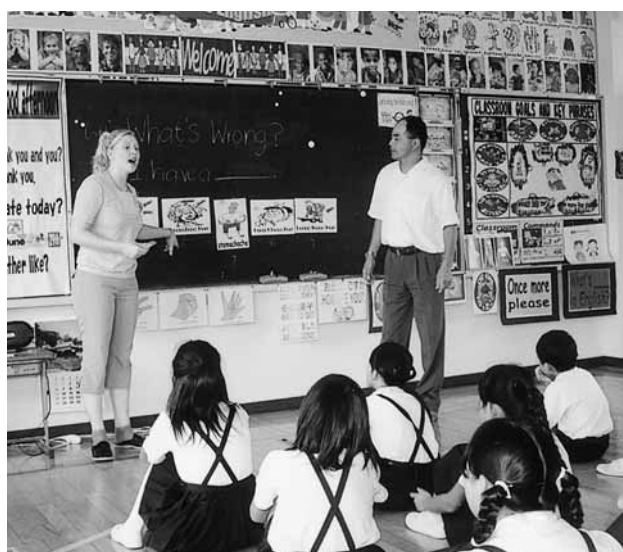
鴨方駅周辺整備事業予定地（鴨方町六条院中）

鴨方駅周辺整備に 五億五百万円

農林水産業費・土木費

土木費は、駅周辺整備事業に五億五千三百三十万円、公共下水道事業特別会計繰出金

無料になり、その費用は、九千八百十八万一千円です。老人保健特別会計繰出金二億四千二百八十八千円、生活保護費三億一千二百二十万一千円。児童手当支給費二億四千七百七十五万円、介護保険特別会計繰出金四億五千八百三十九千円。



外国人職員による英語指導

教育費

に十億六千二百八十一万五千円など、旧三町の前年度予算より約八億八千万円増加しています。

市内すべての小学校に、外国人教師を配置する費用に三千七百七十八万一千円。

漁港建設事業費に三千七百七十二万三千円。市道新設改良事業費に一億九千二百四十八千円。金光スポーツ公園整備事業費に二千六十一万二千円。

小学校の大規模改修費に七千九百二十四万三千円。寄島干拓地のフットサル場整備に五千万円。

前年度比11.8%の 大幅増

18年度

予算審議

香取良勝議員

印刷製本費が全般的にある。入札するのか。また、電算システム料は、同じ業者に出すのか。CNKのチャンネルリース料の名目は何か。エコセクターはどうなっているのか。商工会の補助金はどう

う使われるのか。

企画財政部長

印刷製本は、金額によつては随意契約、大きいものは入札と考えています。電算リース料は、例えば五年間分であれば、定額ですと行きます。チャンネルリース料

は、広報番組を一チャンネル借りるお金です。金光総合支所長

エコセクターは市の施設であり、ダイオキシン測定委託料を計上しています。

産業建設部長

商工会の補助金は、従来の三町補助率で計上しています。

桑野和夫議員

放課後児童クラブの

補助金と、金光町八重

のスポーツ公園に防球

ネットの要望があるが、

工事内容を聞きたい。

図書購入費の配分は

どうなっているか。

健康福祉部長

児童クラブの市独自の

補助金は、金額に違いがあり、今後あわせていく必要があると考えています。

産業建設部長

スポーツ公園に、トイレを新設します。防球ネットですが、あの公園は、ゲートボール等のボールの上がらないものの使用と聞いています。

教育次長

市内の二館一室の図書購入費は、連絡を取り合いながら、購入します。

道廣裕子議員

中学生海外派遣事業は、どういう形態で行

うのか。

教育次長

オーストラリアのテ

ィーツリーガリー市と

友好提携を結んでいて、

市内の中学生十五名を

派遣します。

また、中国の高安市へも二名を派遣します。

竹本幸久議員

この段階での経常収支比率、公債比率を知りたい。

また、災害があつたときの貯水はどうなっているか。

企画財政部長

予算は、旧三町の要望に基づいて行い、経常収支比率、公債比率は決算後の数字ですので、現在は出ていません。

上下水道部長

貯水は配水池に貯まつた水が、八時間槽とか十二時間槽があります。災害の修繕は、修繕引当金で対応します。

一般会計(歳出) 127億3210万円

議会費 2億358万4千円 1.6%

総務費
15億579万円
11.8%

民生費
30億5934万9千円
24.0%

衛生費
13億2651万円
10.4%

農林水産業費 6億6708万9千円 5.5%

商工費 7042万円 0.6%

土木費
24億4994万9千円
19.2%

消防費 6億102万4千円 4.7%

教育費
12億4417万3千円
9.8%

災害復旧費 508万6千円 0.1%

公債費(借金返済)
9億3316万円 7.3%

諸支出金 6億4489万4千円 5.1%

予備費 2107万2千円 0.2%

(性質別)

人件費
18.0%

物件費
16.5%

維持補修費 0.7%

扶助費 10.6%

補助費等
14.9%

積立金
5.1%

繰出金
15.5%

借金
7.3%

建設事業費
11.2%

予備費 0.2%

7つの特別委員会設置や 政務調査費交付条例など 議員発議11件を可決

6月議会

国民保護協議会条例など

市長提出条例5件を可決

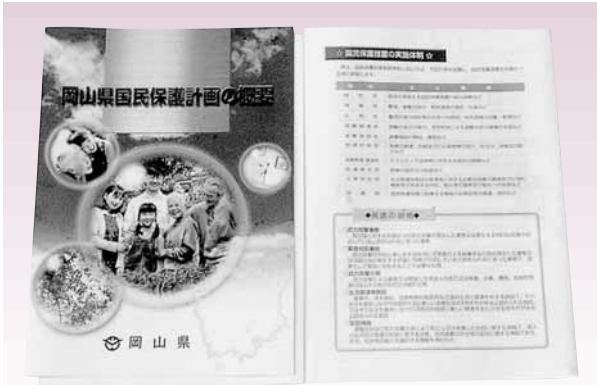
六月十三日から二十九日まで、十七日間にわたって六月定例会を開きました。

議員が発議した国道2号バイパス等を調査する七つの特別委員会の設置や、議員定数を二十人とする条例及び議会政務調査費を交付する条例を、全会一致で可決しました。

合併振興基金条例など市長から提出された条例五件、市町村総合事務組合の規約変更、予算十件、過疎地域計画の策定、市道路線の認定を、それぞれ可決しました。

そして、予算の繰越計算書の三件と長期契約の締結の報告を受け、人権擁護委員は中杉實さんを適任としました。

また、監査委員に対し、旧金光町の工事の監査を請求し、請願一件と陳情四件は、閉会中の委員会継続審査としました。



武力攻撃事態法の国のパンフレット

条例

○浅口市議会議員 定数条例(可決)

次の一般選挙から、議員の定数を二十人とします。

○浅口市議会政務調査費の交付に関する条例(可決)

議員の調査研究の経費の一部として、議員一人当たり月額三万円を交付します。

○浅口市合併振興 基金条例(可決)

合併振興基金を設置し、市の振興経費に当てます。

○浅口市障害者自立 支援条例(可決)

障害者自立支援法の施行により、介護給付費の支給決定をする審査会を置きます。

議案質疑

桑野和夫議員

審査会は、適切な体制ができるのか。介護給付費等の特例はあるか。

また、相談窓口は、専門家が配置されるのか。

健康福祉部長

審査会のメンバーは、医師、精神科医、社会福祉士、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、保健師等を考えています。

給付の特例は、災害等に限られます。相談窓口は、検討中です。

山下隆志議員

介護給付の独自策を取り入れて欲しい。

田主市長

福祉施策は重視しますが、宿題とさせていただきます。

道廣裕子議員

自立支援法の税の問題で、一律の定率負担になっている。国や県に応能負担を要望できないか。

健康福祉部長

現在、市長会で話し合われているように聞いています。

○浅口市国民保護協議会 条例(可決)

武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律が成立し、国民保護の計画の意見を聞くために協議会を置きます。

議案質疑

桑野和夫議員

国民保護の計画を策定しない場合、国・県からのペナルティはあるのか。

企画財政部長

法律により、作るように義務づけられています。

討論

〈反対〉

道廣裕子議員

武力攻撃事態法は、米国との追従で戦争に出て行く法です。五年目には自治体で実働訓練まで持ち込む内容です。政府がすべてを決定し、地方に押し付けてきていることは、地方議会軽視であり、地方自治体は戦争に加担するために仕事をしているわけではありません。

〈賛成〉

山下隆志議員

国民保護法ができたから戦争がおこるという発想は、いわば、「傘をさせば雨が降る」のような発想です。国民の生命と財産を守ることが主題であり、国・県・地方の連携は重要です。

〈賛成〉

香取良勝議員

戦争はなければ良いが、アメリカでもテロで多くの人が亡くなった。いつ起こるかかわらないので、法を整備してきちつとやらねばならない。

○浅口市国民保護対策本部及び浅口市緊急対処事態本部条例（可決）

武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律による対策本部を置くためのものです。

討論

〈反対〉

道廣裕子議員

国民保護協議会条例とセツトの条例です。やめることのほうが大事です。

〈賛成〉

香取良勝議員

攻めてきて命をとられたら、何もならないんだということです。法をきちつと守らなければなりません。

○浅口市特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（可決）

議員から選ばれる監査委員の報酬月額を三万円、識見の委員は四万五千円とします。また、農業委員会の会長、会長代理、委員の報酬月額をそれぞれ三万円、二万六千円、二万五千円とします。



過疎地域自立促進市町村計画書と
17年度～21年度の事業計画

浅口市過疎地域 自立促進市町村 計画の策定（可決）

寄島総合支所長

五年間の計画の中で、具体的な事業が決まり次第、追加します。

道廣裕子議員

計画の中で、インターチェンジまでのアクセス道路に東安倉・鴨方線は、入らないのか。

寄島総合支所長

東安倉・鴨方線は、寄島では改良が済んでいます。

竹本幸久議員

合併特例債と、過疎地域の特典の関係はどうなるのか。

寄島総合支所長

七十%の交付税算入は、同じですが、寄島では、過疎債を優先して使い、合併協議会の中でいろいろ模索して、合併特例債と過疎債を振り分けています。

議案質疑

加藤淳二議員

計画書の具体的な施策の中に、観光直売所等いろいろあるが、事業計画の中にないのはどうしてか。

市道路線の認定



市道大毛り一号線（金光町）

・金光町の市道大毛り一号線四十三メートルと寄島町の寄島干拓六百六十七号線百三十メートルの認定を可決しました。



寄島干拓667号線予定地（寄島町）

報告

・平成十七年度一般会計暫定予算繰越明許費繰越計算書
・平成十七年度公共下水道事業特別会計暫定予算繰越明許費繰越計算書

・平成十七年度水道事業会計暫定予算繰越計算書

一般会計は一億七千七百九十八万円、公共下水道事業特別会計は四億一千八百万円、水道事業会計は一千五百二十万円を、それぞれ本年度に繰り越しました。



中杉 實 さん

諮問

人権擁護委員の推薦の意見は、鴨方町深田の中杉實さんを適任としました。

諸般の報告

老人憩いの間のカラオケ装置のリース等と企業会計システムの使用を、平成二十三年まで契約します。

○長期継続契約の締結

道路整備予算

確保の意見書

倉敷市長から要請のあった道路整備予算の確保に関する意見書を可決し、政府・国会関係機関に送付しました。意見書の内容は、道路特定財源に基づき、国が必要な予算を確保することを求めるものです。

監査請求の決議

（可決）

六月二十九日に、議員十一人で発議された監査請求に関する決議を可決しました。

この決議は、地方自治法に基づき、監査委員に対し監査を求め、その結果を請求するものです。

一、監査を求める事項

①平成十七年度金光町発注の金地一号線道路修繕工事における不当な公金支出。
②平成十七年度金光町発注の金地一号線道路修繕工事において境

界が後退していると思われることに関し、市財産の適正な管理を求めること。

二、監査の報告期限
平成十八年九月三十日

議案質疑

高橋吉之助議員

浅口市が発足する前の金光町の工事をとりあげるの、どうかと思います。公正をただすためなら致し方ないと思っています。問題は、公金の返還だけに及ぶのでしょうか。新しいまちができるだけ波風のないようにお願いしたい。

提出者答弁

桑野和夫議員

監査を求める事項は、これ以外のことはありません。まだ十七年度の決算が済んでいませんので、監査をお願いし、新しい市の適正な行政を求めて提案しました。

六月議会で、議会が特に必要と認めた案件を審査するため、特別委員会を設置しました。委員会の構成は次のとおりです。

特別委員会を設置

金光地域振興及び都市計画調査特別委員会



副委員長 桑野和夫



委員長 抽井勝敏

//	//	//	//	//	委員
大	香	畑	青	藤	原
西	取	中	木	澤	
洋	良	知	光	健	彰
平	勝	時	朗		

鴨方駅及び駅周辺整備調査特別委員会



副委員長 柚木 毅



委員長 高橋範昌

//	//	//	//	//	委員
大	高	井	永	山	加
西	橋	上	原	下	藤
洋	吉	邦	知	隆	淳
平	之助	男	康	志	二

国道2号バイパス等調査特別委員会



副委員長 香取良勝



委員長 大西恒夫

//	//	//	//	//	委員
坂	高	畑	青	原	平
本	橋	中	木		田
幹	範	知	光	彰	襄
志	昌	時	朗		二

ケーブルテレビ運営等調査特別委員会



副委員長 桑野和夫



委員長 山田勝則

//	//	//	//	//	委員
道	井	永	山	中	平
廣	上	原	下	西	田
裕	邦	知	隆	美	襄
子	男	康	志	治	二

子育て支援及び青少年健全育成調査特別委員会



副委員長 道廣裕子



委員長 中西美治

//	//	//	//	//	委員
筒	田	藤	柚	桑	山
井	口	澤	木	野	田
頼	桂	健	毅	和	勝
昭	一郎			夫	則

寄島地域振興及び干拓地開発調査特別委員会



副委員長 筒井頼昭



委員長 竹本幸久

//	//	//	//	//	委員
抽	坂	高	大	中	加
井	本	橋	西	西	藤
勝	幹	吉	恒	美	淳
敏	志	之助	夫	治	二

委員会メモ

各委員会で、執行部から報告を受けたものです。

11月11日に合併記念式典

総務文教委員会

○五月十八日

市内の小中学校十校を視察し、各校長から、新たに整備された施設や生活支援員の活動等の説明を受けました。

六条院小学校では、学校給食を試食しました。

合併記念式典

十一月十一日（土）午前十時から、浅口市中央公民館大ホールで、合併記念式典をします。

海外派遣研修

本年度の海外派遣研修は、中国高安市へ、二十五名を派遣します。



金光小学校を視察（5月8日）

10月から市役所で パスポート発給

民生委員会

パスポートの発給

十月一日から、県の事務移譲により市民課で、パスポートを発給します。

○六月二十三日

地域包括支援

センター

四月一日、健康福祉センター内に、介護保険法に基づき、地域包括支援センターを設置しました。支援センターでは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーが中心となり、高齢者の相談、介護予防、虐待防止などの事業を行い、高齢者の生活を総合的に支えます。



私立三和保育園を視察（5月22日）

○五月二十二日

リサイクルセンター、障害者共同作業所など、市内五施設を視察した後、市内二保育園で、保育の様子を参観しました。

母子自立支援員及び 家庭児童相談員の配置

福祉事務所の設置に伴い、母子自立支援員と家庭児童相談員を採用しました。

母子自立支援員は、母子家庭や、寡婦の方の生活相談に応じ、自立のための手伝いや、アドバイスをします。

家庭児童相談員は、家庭、地域や学校生活

等のさまざまな悩み事の相談に応じ、児童相談所と連携して問題解決の手助けをします。

総合検診の実施方法

これまで、愛育委員が申込書を回収していたことを改め、受診者本人が問診票に記入して、検診会場へ持っていくように変更しました。

クラブウ工場増設で 三十数名の雇用

産業建設委員会

○五月十九日

三町の浄化センター、植木の里エコセンターなど、市内六箇所を視察しました。

水道事業は、市内のほとんどが、給水区域

に入り、旧鴨方町と旧寄島町は西南水道企業団から受水し、旧金光町は倉敷から分水しています。

下水道は、旧町単位で処理区を持ち、三つの浄化センターを持っています。

○六月二十六日
クラブウの新規
工場建設

鴨方町の六条院西にある、クラブウの工場が増設されます。

八月上旬から建築工事をし、来年六月から生産を開始します。建物

は、三千平方メートルで、三十数名の雇用があります。

金光地域の
上水道受水先
旧金光地域の上水道は、倉敷からの分水を受け、受水費が一立方メートル当たり百三

円二十銭です。西南水道企業団からの受水は百五円です。で、これを踏まえて、今後、経済的な受水方法を検討します。

寄島地域振興及び 干拓地開発調査特別委員会

○六月二十一日

寄島干拓地に 物流倉庫建設

岡山県が、寄島干拓地整備の基本計画を、平成十一年三月に策定し、平成十四年八月に一部計画見直しをして

います。

干拓地は四地区に区割りされていますが、この度商業系・居住系・福祉系の三ゾーンで構成されているB地区内に、遊戯用機器製造企業の山佐(株)を、岡山県

が誘致し、七・九ヘクタールを売却するため、B地区のゾーン見直しが必要となり、商業系・居住系ゾーンを縮小・廃止し、新たに産業系ゾーンを設けました。

県道矢掛寄島線 道路整備

主要地方道矢掛寄島線の整備事業は、県道倉敷長浜笠岡線から、県道寄島笠岡線までの九百七十メートルの内、四百二十メートルは一部供用開始し、残りの五百五十メートルは、今年度完成予定です。さらに北への四百六十メートルは、今年度に用地測量をする予定です。



鴨方浄化センターを視察（5月19日）



合併後初の一般質問に

12議員登壇

市長のマニフェスト（公約）の進捗は	
山下 隆 志 議 員	 P 1 2
3町合併は対等合併か	
香 取 良 勝 議 員	 P 1 3
市民生活に直結する部に重点を	
柚 木 毅 議 員	 P 1 4
市民の声を聞く方法は	
大 西 恒 夫 議 員	 P 1 5
制限つき一般競争入札が最適では	
山 田 勝 則 議 員	 P 1 6
学校の防火扉の点検は	
筒 井 頼 昭 議 員	 P 1 7
新市建設計画の各種事業の進捗は	
桑 野 和 夫 議 員	 P 1 8
181億円の新市計画の完遂は	
畑 中 知 時 議 員	 P 1 9
婦人協議会を守れ	
大 西 洋 平 議 員	 P 2 0
子ども育成条例の現状	
中 西 美 治 議 員	 P 2 1
市独自の不妊治療支援策を	
原 彰 議 員	 P 2 2
県下で一番高い介護保険料の引き下げを	
道 廣 裕 子 議 員	 P 2 3

一 般 質 問

市長のマニフェスト

(公約)の進捗は

答 図書室は充実を

水道料金は鴨方並に



山 下 隆 志 議 員

問

市長のマニフェスト(公約)の進捗が注目されます。

既存施設を活用した図書館の新設、水道料金の引き下げ時期と数値目標は検討していますか。

答

寄島総合支所長

既存施設の改修による図書室の充実を主に模索し、新市建設計画にある寄島公民館の改修時に、具体的な活用方策を関係部局と協議します。

答

教育次長

近年の子どもの読書離れは、深刻な社会問題として、認識しています。

絶滅危惧種アッケシソウを守れ

答

市指定天然記念物として保護

問

アッケシソウは、海岸の入江など

特殊な条件下でのみ生息し、深い紅色の紅葉がみられる一年草です。全国的にも、北海道、香川県と寄島干拓地にしか自生してはなく、寄島町指定天然記念物でした。

大変貴重なので、今

答

寄島総合支所長

市の文化財保護委員会等の関係機関と充分協議し、市の天然記念物として保護育成に努めます。

後の保存方針を聞きま

答

上下水道部長

合併後四月から旧鴨方町の水道料金に合わせたことで、一部値下げになりました。

一般的な家庭で使用する一月あたりの水量二十㎡と比較すると、旧金光町で二百三十円、旧寄島町で三百七十五円の値下がりとなっています。

今後さらに値下げを検討します。

魅力あふれる海に

答

干潟再生で豊かな漁場に

問

自然等の資源を体験し、生活を向上しようとする要請が高まっています。

都市からの交流は、水産業や漁村に対する理解と関心を深め、漁村の活性化や水産業の発展に大きな役割を果たします。

答

寄島総合支所長

具体的には、子供たちの漁場体験の場等の整備、地域の特性に応じた都市漁村交流活動の支援等に関する普及啓発であると考えます。

稚魚の放流体験、底曳き網漁船に乗船しての漁業体験などを通じて、水産業への認識を深めてもらっています。



寄島干拓地のアッケシソウ

一 般 質 問

三町合併は対等合併か

答 もちろん対等合併です



香 取 良 勝 議 員

問

旧三町の元町長は、三町対等合併を目標に市民の幸せを願って頑張ってきたが、部長職は五人のうち一人を除いて全て旧鴨方町の職員でした。市長は対等合併と思っていますか。

答 市長

金光町は大好きな町で、青春時代を過ごした町でもあり、心から尊敬している町です。寄島町とも深い縁があり、おかしな感情を抱くわけがありません。建設的に前向きに住民福祉や地域の発展につながる議論をしましょう。もちろん三町は対等合併であり、新しい人事を近々したいと考えています。

問

合併以前に各町がやり残した案件については実行するのですか。例えば寿光園の二億五千万円の件は。

答 金光総合支所長

寿光園の二億五千万円の件等々につきましては、旧金光町の議会におきましても幾度となくご質問をされております。その都度担当課長、当時の町長が町としてのお考えを返しております。そういうことでやり残した案件というふうには思っております。

一般競争入札の導入で市税を一元でも無駄にするな

答 課題が多く精査が必要

問

随意契約は入札なしで仕事をさせる方法で競争がありません。

一般競争入札は競争させることで、たとえば七十%の予算で事業ができる場合があります。一般競争入札には、人件費や手間がかかると言われていたが、メルिटも大きいと思います。市民の税金は一元でも無駄を省くべきです。市民の為に最大限の努力をするつもりはありませんか。

答 企画財政部長

入札は、指名競争入札を実施しており、業者選定は浅口市入札指名委員会で適正にしています。

一般競争入札は、透明性、競争性が高いなどのメリットがある一方、信頼できる業者を指名する指名競争入札と比べると、不適格業者の排除が困難であること、また資格審査等の事務量が

問

市長の選挙で「市長の裏の顔」とした中傷はがきが投函されていましたが、これは本当の事ですか。市民に納得のいく説明を求めます。

答 市長

真実でないことを書かれて喜ぶ人間はいません。怪文書のごときは、現在、警察へ捜査を依頼しています。

一般質問

市民生活に直結する部に重点を

答 事務量により、適正な配置に努める



議員 榎 木 柚

問

新しい行政の組織で子育て支援

課や、高齢者支援課、健康推進課などは時代にマッチした、浅口市の看板の組織だと思います。仕事量に対して人が少ないのであれば、組織全体を再度チェックし、職員を適正に配置して市民生活につながる、子育て、健康、福祉、保健、高齢者などに重点を置き、うまく機能するように適正な配置が必要だと思います。

答

健康福祉部長

合併に伴う混乱、福祉事務所、地域包括支援センターの設置以外にも、乳幼児医療費の年齢拡大など制度改正に伴う事務量が大幅に増加したため、事務が

若干遅れた状況もあります。

今後、福祉サービスの低下を招かないよう業務の内容を分析し、支所と連携するとともに、人員の不足があれば、適正な配置に努めます。

答

助役

健康福祉部の人事は、複数の新規事業があり、不確定要素が多かったため、職員の配置に大変苦労しました。

部全体で時間外勤務が多いことは把握していますが、今後事務量を十分考慮した上で市全体を見きわめ、適正な配置に努めます。

通学路に信号機の設置を

答

設置要望書を出しました

問

鴨方町六条院中平地地区の県道

交差点の改良ができました。幅員も広くなり、横断するのに時間がかかり、また交通量も増えていきます。

この交差点は通学路で、小学生などが多数横断するので、安全確保のために押しボタンの信号機が必要です。ぜひとも関係機関への設置要望をお願いします。

答

企画財政部長

この交差点は通学路で、特に朝夕は交通量が多く、渡りにくのが現状です。

また、歩行者が横断しづらい、見通しが悪いという話が寄せられている中で、六月に地区から信号機の設置要望書が提出されました。

信号機設置は、設置指針に基づき、公安委員会が、総合的に判断し、決定します。

現在、市から設置要望を提出していますが、県内の要望も多く、早急な対応が厳しい状況です。

関係機関への要望で、できる限り対応したいと思っています。



鴨方町六条院中平地交差点

一 般 質 問



大 西 恒 夫 議 員

市民の声を聞く方法は

答 ともに新しいものを考えたい

問

市長は、「皆さん
の意見を聞きな
がら市政を進めてい
きたい。」とよく言ってい
ます。

意見を聞く具体的な
方法と返事を返す期間
をマニュアルで明示し
てはどうでしょうか。

答

市長

広報誌のなんでも通
信、あるいは直接連絡
をいただくことで対応
していますが、一緒に
新しいものも考えたい
と思います。

問

市税の収納状況
及び払わない人
払えない人等の扱い、決
裁の流れ、また、市民税
等の基礎となる金額決
定の流れを説明してく
ださい。

答

助役

滞納者には、督促状、
催告状等により、催促を
行い、電話連絡、さらに
は訪問、徴税滞納整理

組合への委託で滞納処
分をしています。

滞納処分は完結する
か、不能欠損として徴
収権を消滅させるか、い
ずれかの方法をとります。

特殊な事情で、徴収
困難な納税者は、担当
者、課長が内容を精査
し、部長、担当助役、最
終的に市長の決裁によ
り不能欠損処分となり
ます。

次に、調定額は、給与
支払い報告書、年金支
払い調書等を基にして、
コンピューターによる
処理をしたものが調定
になります。これも、精
査の上、同じく市長決
裁となります。この過
程でも、作務的、人的な
ものが加えられる余地
はありません。

滞納処理については
本庁と総合支所と徴収
計画を立て、少しでも
徴収率が高くなるよう
努力します。

答

生活環境部長

平成十六年度の納税率ですが、税全
体で九十七・二七％となっています。

独自の統一

マニュアル作成を

答

市民に喜ばれる
マニュアルを
つくりたい

問

三町の職員が一緒になりました。
他のまちと違うと言われるよう
な、浅口市独自の統一マニュアルを作っ
てはどうでしょうか。

答

助役

全庁的に取り組むべき防災業務や受
付業務などを中心に再確認するととも
に、新たな事業についても検討します。
今後、行政サービスの向上に努める
ためにも、また市民に喜ばれ、安心し
てもらえるようマニュアルを作成した
と考えています。

答

後世に残る
イベントにしたい

**三町のいいところを
活かしたイベントを**

問

寄島は魚、金光は植木、鴨方
は酒、麺など、様々な産業が
あります。三町合併したからこそで
きる、合併を喜べる継続的なイベン
トの計画はありませんか。

答

企画財政部長

新市発足の記念行事としては、十
一月に浅口市中央公民館で合併記念
式典を計画しています。

各地域で講演、舞台等のイベント
を予定しており、議決後に具体的な
手法、内容等を検討します。

答

産業建設部長

今年度は、各町それぞれが、従来
どおりのイベントを行うことになっ
ています。

来年度以降は、旧三町の地域の特
性を活かし、一体感のある市民共働
型のイベントにしたいと思っていま
す。

答

市長

同時並行で開催し、一体感と、にぎ
わいを持ったイベントをやりたいと
思います。

市になったことを喜ぶにふさわし
い、後世に残るイベントを考えたい
ので、アイデアをいただきたいと思
います。

一般質問

制限つき一般入札が最適では

答 笠岡市を参考に検討



山田勝則議員

答 企画財政部長

制限つき一般競争入札は、笠岡市が試行中で、事例を参考に検討したいと思います。また、指名委員会は秘密を保持することに

なっています。

答 市長

業者選定は、地元業者育成という方針を指名委員会に伝えていきます。

透明性、説明責任については、趣旨に沿った方向を目指したいと思っています。

市場公募債の導入を

答 先進地の事例で研究する

問

施政方針で演説した「快適、安心、思いやり債」というような市債を発行し、市独自の事業に充当すれば、市民共働のまちづくり、行政の透明性にもつながり、非常におもしろい展開ができると思います。

答 企画財政部長

公募債に振り替えることで資金調達の多様

答 市長

住民参加型の債権で、なかなかよいアイデアだと思っています。

問

旧金光町民が金光テレビを視聴する場合、近隣より安く見ることができました。近隣との整合性だけで料金を値上げするならば、今年度も計上されているリース料は減額されるべきです。

また、多額の公金投入にもかかわらず、かなりの損失金が出ています。会社の特殊性を考え、浅口市に株主権が移った今、代表取締役及び役員

任を明確にすべきと考えます。

市民から大きな財産を預かっているという責任もあり、株主としてどう対処するのか、また、今後の見通しについてどう考えますか。

次に、一市に二局ケーブル放送がある現況は、新市の一体感にはどうかと考えます。

議会も十分議論し、協力すべき案件であり、将来的な方向づけもしていかねばいけないと思います。

答 金光総合支所長

金光テレビは第三セクターとして設立され、資本金三億円のうち金光が九十八%を出資しています。

答 助役

今後は、独立採算でできるよう経営努力し、透明性のある運営を心がけてもらいたいと思っています。

また、金光町が行政放送で使用するため、平成十九年度までは毎年五千万円をチャンネルリース料として金光町から支払いをするよう議決しています。

その後、近隣ケーブルとの格差等を考え、今回收利用金の改定を行っています。

また、私も取締役の一員に加わりましたので、微力ながら努力したいと考えています。なお、近い将来は独立民営化、他社との合併など、多様な選択肢の中から進むべき方向性を検討すべきであると考えています。

金光テレビの経営には市が責任をもつべき

答 独立採算できるよう経営努力を望む

一 般 質 問

学校の防火扉の点検は

答 事故を受け指導を徹底

問

防火シャッターで首を挟まれた事故などが報道されると、子供たちの安全がおろそかにされていると感じます。

防火シャッターや防火壁が浅口市の学校にもあるのかどうか、また、防火設備の点検はどのような方法で行っているのでしょうか。

教育委員会では、このような事故の報道後、学校にどのような指示をしたのか、事故が起こらないためにどのような方策、対策をとっているのでしょうか。

答 教育次長

市内の小学校にも、防火扉や防火シャッターを設置しており、作動点検については、業者に委託し、年二回実施してい

ます。
事故を受け、教育委員会では、市内の幼稚園、小、中学校の防火シャッターの設置状況を調査し、児童・生徒の指導を徹底しました。



六条院小学校防火シャッター

学校の安全対策

答 施設を整備し、重ねて指導

問

児童殺傷事件の後、全国の小学校の安全意識が高まり、いろいろな方策がとられています。

浅口の小学校ではこの五年間にどのような施設の整備や方策をと

ったのか、合併後も教育委員会は地域の学校ごとに細かく指導しているのか、また、小学校での危機に対処するマニュアルはどうなっているのでしょうか。

答 教育次長

市内の小学校では、必要な出入り口の施錠、緊急通報装置、防犯カメラ、出入り口へのセンサーの設置などを行いました。

加えて、危機管理マニュアルの作成、教職

員研修、不審者対応の避難訓練の実施、防犯ブザーの配布、地域の方による校内の見回りなどを行っています。
また、定例の市内の校・園長会や近隣での不審者情報が入った場合などに、重ねて指導するように努めています。

早急に防災計画を

答 本年度策定する

答

企画財政部長

浅口市の防災計画は、本年度策定する予定にしています。

問

市民の安全を守ることは市役所にとって全ての行政に優先して行うべき課題であると考えています。

そこで、市当局は早急に防災計画をつくり、住民の安全対策を構築するべきだと思います。
旧三町では行政規模が小さく、防災責任の担当を置くことは難しかったと思いますが、合併を機に専門的な担当者を育成してはどうでしょうか。

一 般 質 問

新市建設計画の 各種事業の進捗は

答 財政状況、
総合的判断により検討



桑 野 和 夫 議 員

問

新市建設計画の
合併特例債事業
を含む様々な事業につ
いて、各事業の状況及
び、今後の取り組みに
ついて伺います。

答 金光総合支所長

合併特例債事業は、
旧三町のバランスを考
え、また市の財政状況
等、総合的判断のもと
今後検討します。

答 産業建設部長

佐方地区に国道二号
バイパスのインターチ
ェンジ、県道南浦・金光
線等広域交通網の整備
を計画しています。そ
の地理的条件を生かし
て企業を誘致し、税の
増収と雇用を促進した
いと考えています。

答 市長

特例債事業は、三割
は借金として残ります
ので、慎重に取り組ん
でいきたいと思っています。

問

市全体として子
供の安全確保の
ための取り組み状況、今
後の計画を聞きます。
子育て支援策にはど
んなものがありますか。
また、医療費無料化
を小学校卒業まで拡充
してはどうでしょうか。

答 国、県の動向をみながら検討

答 教育次長

教職員、PTA役員
が通学路の点検整備を
行う中で、危険が予想
される場所を記入した
安全マップを作成し、
改善を要する内容は、
市へ要望書を提出して
います。
安全パトロールの状



安全パトロール

指定袋の有料化の意図は

答 ごみの減量化に期待

問

指定回収袋の有料化の
意図は財政上の問題か、
あるいはごみの減量化にある
のか、どちらにウエートがあ
るのでしょうか。
また中止はできないのでし
ょうか。

答 生活環境部長

指定袋の導入によりごみ問

題に関心を持ってもらうこと
で、ごみの減量化や資源化も
期待できると考えています。
また、財政面においても、一
部事務組合の負担金はごみの
排出量によるため、ごみの減
量化は市の負担を下げること
となり、大きなメリットがあ
ると考えています。
指定袋の中止は現時点では
考えていません。

小学校卒業までの医療費無料化を

答 健康福祉部長

況は、登下校時に保護
者や教職員のパトロー
ルだけでなく、地域の
方が子供たちとともに
歩き、見守り、声をか
けてくれています。

公立保育所の一時保
育、延長保育等の特別
保育事業を順次行い、
公立保育所の民営化も

具体策を検討していま
す。同時に、保育料の負
担軽減、保育サービスの
充実に努めます。
乳幼児医療費の小学
校卒業までの拡大は、
旧金光町に合わせ対
象年齢を十歳未満まで
引き上げたところです。
今後、国、県の動向や
財政状況を考えながら
検討します。

一 般 質 問

百八十一億円の新市計画の完遂は

答 特例債がどこまで認められるかが鍵



煙 中 知 時 議 員

問

今回の合併は、国、地方合わせて八百兆円とも云われている財政赤字をかかえる中、国の強制ともいえる施策でした。

短期間に合併手続を進めなければならなかったため、多くの住民は極端な情報不足に、不安と不満を持っていることと思います。

新市の船出に当たって、この不安、不満を取り除くことが、合併を成功させるための絶対に必要な要件です。

合併特例債を含む百八十一億円の新市計画を完遂することができるか、非常に心配です。

答 市長

特例債については国がどこまで認めるか今のところ分かっていません。

問

国は交付税の算出基準を見直し、削減しようとしています。

財政難にあえぐ自治体は、容易に借金ができる状態ではありません。

特例債を使い切れず、新市建設計画も絵に書いたモチとなり、合併効果が期待できないという結果にならないか心配です。

旧三町のバランスの

答 市長

とれた運営の中で、それぞれの住民が心から納得し、信頼と安心する状況において、行政が行われる。これが唯一の施策だと思います。

新市建設計画が絵にかいたモチに終わるかもわからないと言われましたが、財務省は厳しいことを言ってくるのではないかという気がします。

問

先の臨時議会で、バランスの取れた助役人事について発言をしました。鴨方町、

寄島町から助役が選出され、金光町は選出されなかった件です。

私は、市民の代表として更に多くの意見を聞きたいと思っていますが、現在までに私に

バランスのとれた助役人事を

答 教育長は金光町から

答 市長

寄せられた意見は、ほとんどバランスからいって疑問であるというものでした。

金光町から助役が出ないことについて、金光町軽視ではないかという意見がありますが、これは明らかに的を外れています。

助役二人は寄島町と鴨方町、教育長は金光町であり、助役が金光町から出なかったというところに対する不満のような話を聞くと、かえって教育行政を軽視しているように感じますので、その辺もあわせてよく理解をいただきたいと思っています。

一 般 質 問

婦人協議会を守れ

答

組織の活性化、拡大を推進



大 西 洋 平 議 員

問

以前は、婦人がある家庭では必ず一人は加入していた婦人会も、現在では、鴨方町で三分の一、寄島町では合併を機に休止、金光町にはないというのが現状です。

行政とのかかわりも非常に強く、婦人会の協力は欠かせないものになっていきます。新市が発足し、浅口市婦人協議会が生まれしました。



真冬のマラソン大会で牛乳を配る婦人会

行政で男女の出会いを

答

現時点では考えていない

旧鴨方町で過去にイベントをしましたが、参加者の結婚に対する意識が薄かったと聞いています。

少子化対策には、女性が子供を安心して産むことができる環境づくりが重要です。

答

企画財政部長

旧鴨方町で過去にイベントをしましたが、参加者の結婚に対する意識が薄かったと聞いています。

市としては、乳幼児医療の無料化、乳幼児を持つ親子が子育て相談に応じてもらえる場として集いの広場を設けようとしています。

答

教育長

婦人会の目標は福祉社会の充実など現代的な課題について学習実践を重ね、地域の活性化を進めることです。

なぜ結婚が少子化対策かというと、現在の出生率の低下は女性の自由、平等、機会の拡大によって引き起こされる未婚化、晩婚化にあると言われているからです。

県が行った独身男女の県民意識調査結果を見ても、結婚は社会の慣習や規範として当然なことではなく、個人の生き方や価値観に基づいて選択される行為となりつつあります。

答

健康福祉部長

県が行った独身男女の県民意識調査結果を見ても、結婚は社会の慣習や規範として当然なことではなく、個人の生き方や価値観に基づいて選択される行為となりつつあります。

一 般 質 問

子ども育成条例の現状

答 早急に委員会をつくる

問 子ども育成条例の現状、また、この活動を市全体に、いつ、どのように拡張していくのでしょうか。

委員の定数は六十名以内となっていました。が、現在の実数は何人でしょうか。

答 教育長

現在、浅口市子供をはぐくむ推進委員会は設置されていませんが、早急に、行動計画を審議するための委員会を立ち上げます。

予算編成にメリハリを

答 当然選択と集中が必要

問

市長の施政方針で予算編成では「総花的に気配りが必要」と言われました。厳しい財政状況のとき、住民の多くが理解、納得できる「選択と集中」でメリハリをつけることも魅力あるまちづくりになると考えます。

答 市長

行政には、相応の気配りが要するという意味です。当然、選択と集中は必要であり、具体的には、ネイティブ外国人教師による英語教育と、十歳の誕生日までの医療無料化が際立つと思います。

総合型地域スポーツクラブの取り組み

答 本年度中に設立準備委員会を立ち上げ

問

総合型地域スポーツクラブへの取り組みの状況を説明してください。
また、寄島町の寿講座が減ったという声を

答 教育長

市は、旧鴨方町の体育指導員に総合型地域スポーツクラブ設立に不可欠なスポーツクラブマネージャーの資格を取得してもらっています。

今後は、この方々を中心として本年度中に設立準備委員会を立ち上げ、来年度から日本体育協会の補助を受けながら、平成二十年度末には設立したいと思っています。

答 健康福祉部長

寿講座は、本年度も同様の内容で五回を予定し、趣味講座は、本年度から四講座を廃止し、九講座の開催を予定しています。

廃止した四講座は、以前から文化協会活動と内容が重複しているものであるため、一本化しました。

寄島町で体力づくり教室を

答 トレーニング事業 全体の見直しを検討

問

合併前、寄島町でトレーニングマシンを使った体力づくり教室事業が十八年度の計画にないように思うが、今後の取り組みを聞きます。

答 健康福祉部長

今後は、六十五歳以上の方の介護予防事業、筋力向上事業等の関連性もあわせて、トレーニング事業全体の見直しを検討したいと考えています。



中西美治議員



健康福祉センターのトレーニングルーム

一 般 質 問

市独自の 不妊治療支援策を

答 積極的に取り組む



答 健康福祉部長

不妊治療は、経済的に余裕のない若い夫婦が多いこと、一回の治療で効果が上がりにくいこと、また体外授精や顕微授精には、治療の度に莫大な負担が伴うので、浅口市としても検討します。

原 彰 議 員

答 市長

少子化問題は、子育て支援課を新設しており、市としての意気込みを感じてほしいと思います。
不妊治療の助成は、積極的に取り組みます。

問 切実に子供が欲しい方は、不妊治療に夢と希望を託し、高額な治療費や、精神的な苦痛に耐えていると聞いています。
市独自の不妊治療の支援策を検討してはどうでしょうか。

住民詐欺事件対策

答 県消費生活センターと連携

答 産業建設部長

消費生活の苦情相談でも、お年寄りをターゲットとした巧妙な手口の振込み詐欺や悪徳商法の相談が寄せられています。

市では消費生活問題研究協議会等を通じ、ひとり住まいのお年寄りの方を中心に防犯意識の向上に努め、県消費生活センター及び金融機関等と連携を密にしながら、詐欺、悪徳商法等の根絶に向けて努力します。

道路危険箇所の改良を

答 県に要望する

問

県道矢掛線の矢掛から地頭上の方角に下ってくる大きなカーブと小坂西、谷井地区を国道二号線に向かって走る県道の大きなカーブが非常に危険だと感じています。
二カ所とも、付近に民家があり、非常に路肩が狭いという共通点

答 企画財政部長

があり、通学路として利用する園児のみならず地域住民の安全のため改良してほしい。
指摘のありました二ヶ所は県道です。現地を確認し、担当課を通じて県に改良を要望します。



鴨方町小坂西地区の大きなカーブ

一 般 質 問



道 廣 裕 子 議 員

県下で一番高い 介護保険料の引き下げを

答 市の自由にはできない

問

介護保険料の基準額は、平成二十一年の第四期の見直しまで続くことになり

ますが、県下で一番高い介護保険料になったその要因は何でしょうか。

答

健康福祉部長

介護保険制度は、一般の福祉施策とは異なり、法に基づいて市町村が行う保険事業です。介護給付費に必要な経費は、原則として一号・二号被保険者からの保険料を五十%、国二十五%、県十二・五%、市十二・五%で運営することになっていきますので、市の自由意思で保険料の変更はできません。

新予防給付と地域支援事業を行うことにより、高齢者の介護予防や、重度化を防止できれば、平成二十一年度以後の、介護保険料の額を抑制できる可能性があります。

答

助役

があります。

介護保険料が高い要因は、周辺に施設が充実し、利用しやすい環境にあること、また現に利用者も多いからです。

循環バス路線を 使いやすく

答 経路の見直し等検討する

問

バス路線の利用実績等の現状はどうなっていますか。

巡回バスの充実を図り、赤字路線が多い状況で廃止になるならば、乗り合いタクシーを導入してはどうでしょうか。

答

企画財政部長

寄島・鴨方循環線は、昨年六月から今年五月までの定期外利用者が平均で一日あたり三十八・八人となっています。

市としては、全体での公共交通体系を一年をかけて検討し、ニーズの把握、運行経路、運賃の問題等を検討し、必要であれば、協議委員会等を設置したいと思っています。

旧寄島庁舎を図書館に

答

活用方策を検討

問

使われる見込みの無い旧寄島庁舎について、リニューアルして、リニューアルしてほしいと思います。

舎三階をユニークな海辺の図書館・資料館と

答

寄島総合支所長

旧寄島町では図書館の新設ではなく、既存施設の改修により図書室として充実させることを主に模索してきました。

資料館についても同様であり、寄島公民館の改修時に、どこを改修するかについても含めて具体的な活用方策を検討します。



市内を走る井笠バス

5700万円議会費削減

議員定数の減による

合併効果

浅口市が発足して、初めての当初予算が、六月定例会で可決されました。

平成十八年度の一般会計予算は、総額百二十七億三千二百十万円

で、金光・鴨方・寄島の旧三町の十七年度当初予算の合計より、十三億四千八百万円余り増加しています。

その中で議会費は、二億三百五十八万四千円、約一・六%です。

また、昨年の旧三町の議会費の合計額、二億六千六十七万二千円

より、五千七百八万八千円減額されています。

これは、合併により、議員が四十二人から二十四人になり、議員報酬と期末手当を合わせて約三千五百六十五万円が節減されたこと、

加えて、旅費や事務費などの経費も大幅に減額できたことによるものです。

山下議員を委員長に広報委員決定

6月21日、議会で広報特別委員会の設置を議決しました。広報委員会は、条例に基づく特別委員会として、議会だよりの編集・発行を行います。



副委員長 山田勝則



委員長 山下隆志



田口桂一郎



竹本 幸久



平田 襄二



道廣 裕子



井上 邦男



永原 知康

田口議長 全国市議会議長会に出席



日比谷公会堂にて (5月24日)

五月二十四日、東京の日比谷公会堂で、全国市議会議長会の第八十二回定期総会が開かれ、田口桂一郎議長が、浅口市の初代議長として出席しました。

浅口市は、新しく発足した市として、総会で紹介されました。

昨年五月の総会以降、市制を施行したのは、百三十二団体で、全国の都市数は、この総会で八百二市となりました。続いて、翌二十五日には、市議会議長がそろって皇居に参内し、豊明殿で天皇陛下に拝謁しました。

陛下からは、「これからも、良いまちづくりを希望します。」

とのお言葉がありました。



議会だよりは再生紙を使用しています。